

『日本の伝統芸能と民俗文化財を学ぶ』

(北見真智子先生)

- 《1》 講座：第4回 歌舞伎（江戸時代の庶民文化をもとに成立した演劇）
- 《2》 日時：2025(R07)年 07 月 09 日(水) 10 時~12 時、午後：クラス活動
- 《3》 場所：茨木市クリエイトセンター
- 《4》 参加者：受講生:32 名、CA:2 名
- 《5》 概要：丁寧に作りこまれた資料をベースに適宜図版や動画を挿入して、いつもの北見調で歌舞伎の講義をされた。「歌舞伎の成り立ちや特徴、歴史」について盛りだくさんの内容を、わずか2時間でわかりやすく説明されるという、大変な名講義でした。

また、午後はクラス活動として、教室で狂言の DVD 鑑賞を行いました。

《6》 歌舞伎の成り立ち

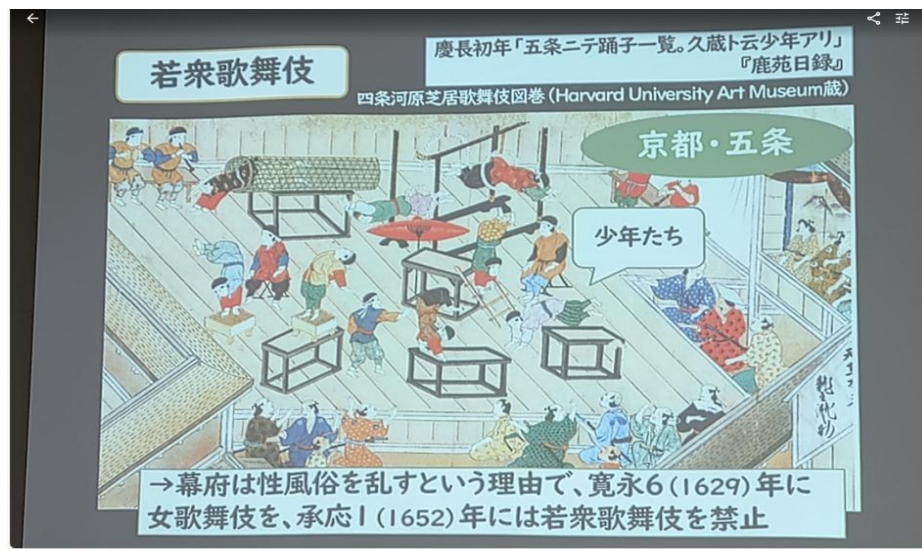
① 出雲の「おくに」が京都鴨川のほとりで始めた。

京に歌舞伎のはじまりしは、出雲のおくにといへるもの、五条のひがしの橋づめに、やや子をどりという事をいたせり（17世紀半ば）

② 女歌舞伎、若衆歌舞伎



四条河原町には芝居小屋がひしめき合っていたが、女歌舞伎はその一つ。
今でいう AKB48.



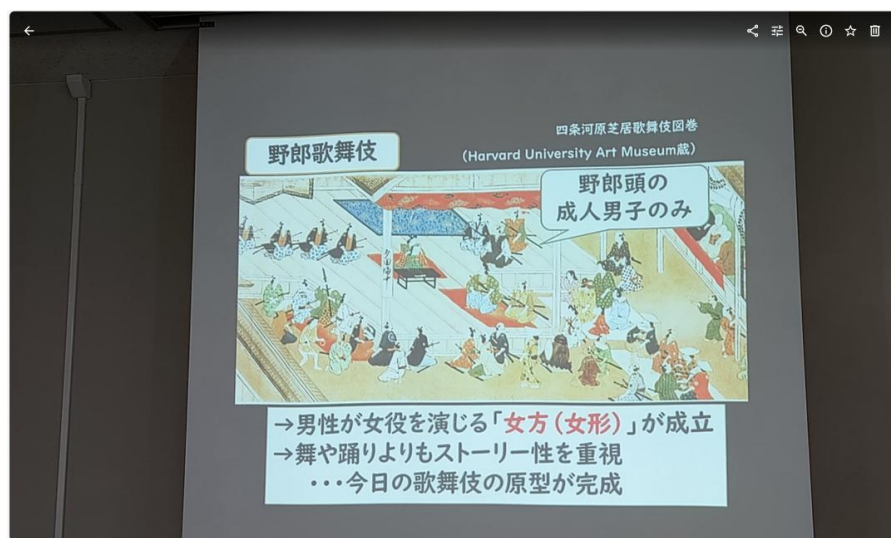
五条では、若衆歌舞伎という少年たちによる歌舞伎が人気を博していた。
今でいうジャニーズ。

③ 野郎歌舞伎

幕府は性風俗を乱すとの理由で、寛永6(1629)年に女歌舞伎を禁止し、承応1(1652)年に若衆歌舞伎を禁止した。

そこで現在の歌舞伎の原型といえる野郎歌舞伎が登場した。

(男性が女役を演じる「女方」の成立など)



《7》 歌舞伎の特徴をいくつか

① 歌舞伎の役柄

「実事」：大人の男性で、分別をもった正義の人。

「荒事」：荒々しい正義の味方。

「和事」：なよっとした女性的な動きが特徴

「赤っ面」：たいてい悪い役

「公家悪」：皇位を奪おうとする高い身分の悪人

「道化」：笑わせる役

「町娘」：商家の娘。黄八丈に黒襟も町娘の拵えのひとつ。

「赤姫」：お嬢様は赤い振袖を着るため。

「傾城」：廓に身を置く遊女。

② 演目の種類

「時代物」、「世話物」、「舞踊」、「新歌舞伎」に分類され、現在も 400 ほどの演目が上演されている。

③ 歌舞伎を演じる人々

能では、たとえば観世流というように「流派」で分けるが、歌舞伎では、市川團十郎家を成田屋というように「屋号」でわかる。

《8》 歌舞伎の盛衰

- ① 歌舞伎の第一ブーム：元禄時代（1688~1704 年）
- ② 沈滞期：大阪で全盛の人形浄瑠璃に圧倒された時代（18 世紀の中頃）
- ③ 歌舞伎の第二ブーム：18 世紀の後半
- ④ 爛熟の時代：文化・文政期（1804~1830 年）
- ⑤ 江戸歌舞伎の最後：天保の改革（1841~1843 年）により庶民の娯楽が制限
- ⑥ 近代化の道へ：明治時代 伝統にとらわれるのではなく、新しいものを取り入れた「新歌舞伎」の流行

≪ 9 ≫ 午後のクラス活動

DVD 鑑賞会

- ① 題名：スーパー狂言「クローン人間ナカシマ」
- ② 原作：梅原猛
- ③ 演出：茂山千之丞
- ④ 美術・装束：横尾忠則

能と違い、日本語が理解できるので、大変面白かった。

先生のご専門は「能」ということで、「朦朧とした中から浮かび上がる美しさ。想像力を掻き立てる何か。」とのことですが、浅学非才な私の場合、能ではほとんど日本語がわからず、「朦朧」のレベルに達しない状態です。

狂言は理解できました。

≪ 10 ≫ おわりに

教室運営に細かい心配りをされておられる 2 名の CA さんに感謝申し上げます。
おかげで、いつも愉しく学ぶことができます。

(ブログ担当：5 班 i)